

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社
 コード番号 4827 URL <http://www.businessone-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務本部長 (氏名) 川本 敏夫

TEL 092-534-7210

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,154	3.9	518	6.4	439	2.2	301	4.5
29年3月期第3四半期	5,366	34.0	486	63.4	430	74.2	288	57.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 304百万円 (4.9%) 29年3月期第3四半期 289百万円 (58.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	72.73	
29年3月期第3四半期	69.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	14,027	1,876	13.4	452.24
29年3月期	11,970	1,586	13.3	382.34

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,876百万円 29年3月期 1,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	6.7	600	5.8	530	9.1	350	7.1	84.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	4,148,900 株	29年3月期	4,148,900 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	4,148,900 株	29年3月期3Q	4,148,900 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の緩やかな回復や企業収益、国内設備投資の改善が進み、全体として緩やかな回復基調が続きました。

また世界経済は、アジアでは中国において個人消費を中心に堅調に推移し、米国では企業部門の業績の回復や個人消費の増加、雇用情勢の改善などを背景に緩やかな拡大基調が続きました。欧州でも製造業を中心とした企業部門の改善や堅調な個人消費により、緩やかな回復基調が続いたことから全体として景気は緩やかに持ち直しております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的とし、各事業部門の利益確保を意識した収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期の大口の不動産売却取引の反動減により5,154,911千円（前年同期比3.9%減）と減収となりましたが、賃貸事業とソフトウェア事業の増益により営業利益518,203千円（同6.4%増）、経常利益439,954千円（同2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益301,767千円（同4.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産事業

不動産買取再販事業と競売落札事業が牽引しておりますが、前年同期の大口の不動産売却取引の反動減により減収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3,713,910千円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益418,183千円（同8.4%減）となりました。

②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。「安心」「誠実」「対応力」の3つのキーワードを行動の基とし、九州・福岡に根ざした地域密着型のマンション管理会社としての企業基盤の強化を図っております。

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は851,571千円（前年同期比1.4%増）、セグメント損失18,646千円（前年同期はセグメント損失15,081千円）となりました。

③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産を基にシナジー効果を最大限発揮し、収益につなげる事業を拡大して行っております。また一般管理物件の賃貸管理戸数の増加による更なる基盤強化を図っております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は賃収物件の増加により511,748千円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益161,926千円（同26.8%増）となりました。

④ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門のより一層の強化に加え、ユーザーへのサービスを充実させるべく主力商品の機能強化に伴う開発及びサポートセンターの人員強化を図り、製品としての魅力を高める活動を積極的に推進しております。またパッケージソフトウェアの操作指導（スクール）やバージョンアップ案内等の保守関連にも注力しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は112,411千円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益22,828千円（前年同期はセグメント損失1,488千円）となりました。

⑤ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は融資案件の増加により58,148千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は人件費等営業経費の増加により23,455千円（35.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,543,629千円となり、前連結会計年度末に比べ777,370千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が377,660千円、販売用不動産が591,971千円増加し、前渡金が193,282千円減少したことによるものであります。固定資産は6,482,157千円となり、前連結会計年度末に比べ1,280,063千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が548,280千円、土地が750,328千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は14,027,208千円となり、前連結会計年度末に比べ2,056,450千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,608,526千円となり、前連結会計年度末に比べ367,953千円減少いたしました。これは主に短期借入金が379,453千円減少したことによるものであります。固定負債は5,542,368千円となり、前連結会計年度末に比べ2,134,391千円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,150,894千円となり、前連結会計年度末に比べ1,766,438千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,876,313千円となり、前連結会計年度末に比べ290,011千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益301,767千円及び剰余金の配当12,446千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は13.4%（前連結会計年度末は13.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,156	1,634,816
受取手形及び売掛金	110,733	100,406
商品及び製品	11,627	11,627
販売用不動産	4,433,201	5,025,172
原材料及び貯蔵品	1,467	1,446
営業貸付金	552,700	622,200
繰延税金資産	29,868	23,741
その他	378,661	126,919
貸倒引当金	△9,157	△2,702
流動資産合計	6,766,258	7,543,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,975,793	2,524,074
土地	2,851,176	3,601,504
その他	23,742	23,238
有形固定資産合計	4,850,712	6,148,817
無形固定資産		
のれん	60,570	36,820
その他	15,199	13,956
無形固定資産合計	75,769	50,776
投資その他の資産		
投資有価証券	5,240	15,240
長期貸付金	224,000	228,500
繰延税金資産	7,168	12,495
その他	127,039	120,785
貸倒引当金	△87,836	△94,457
投資その他の資産合計	275,611	282,563
固定資産合計	5,202,094	6,482,157
繰延資産		
社債発行費	2,405	1,421
繰延資産合計	2,405	1,421
資産合計	11,970,758	14,027,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,030	40,326
短期借入金	5,847,985	5,468,532
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	439,960	508,523
リース債務	8,656	7,105
未払法人税等	132,872	64,531
賞与引当金	39,100	36,570
その他	405,874	422,937
流動負債合計	6,976,479	6,608,526
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	3,167,980	5,283,130
リース債務	10,790	13,010
その他	129,205	146,227
固定負債合計	3,407,976	5,542,368
負債合計	10,384,455	12,150,894

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	1,152,673	1,440,279
株主資本合計	1,588,708	1,876,313
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2,406	—
その他の包括利益累計額合計	△2,406	—
純資産合計	1,586,302	1,876,313
負債純資産合計	11,970,758	14,027,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,366,859	5,154,911
売上原価	4,019,543	3,816,305
売上総利益	1,347,316	1,338,606
販売費及び一般管理費	860,373	820,402
営業利益	486,942	518,203
営業外収益		
受取利息	13,338	12,986
受取配当金	20	13
受取保険金	366	3,063
その他	3,658	7,481
営業外収益合計	17,383	23,545
営業外費用		
支払利息	70,486	93,059
社債利息	1,420	1,394
その他	1,735	7,340
営業外費用合計	73,642	101,794
経常利益	430,683	439,954
特別利益		
固定資産売却益	4,697	—
特別利益合計	4,697	—
特別損失		
固定資産除却損	1,588	336
特別損失合計	1,588	336
税金等調整前四半期純利益	433,791	439,617
法人税、住民税及び事業税	150,764	138,672
法人税等調整額	△5,626	△822
法人税等合計	145,137	137,850
四半期純利益	288,654	301,767
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	288,654	301,767

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	288,654	301,767
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,318	2,406
その他の包括利益合計	1,318	2,406
四半期包括利益	289,972	304,173
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	289,972	304,173
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。